

堀江中学校 校長室だより

令和7年度 No.44

さくら



令和8年3月2日(月)

100年企業に学ぶ

ネット検索すれば、多くの情報を得ることができます。とても便利な時代になりました。しかし、情報の波にのみこまれてしまうこともしばしば。また、さまざまな情報を得ることはできますが、心が動かされるような臨場感を感じることはほとんどありません。だからこそ、さまざまな「人」に会うことを心がけています。そして、その方の生き方に学ばせてもらっています。

先日、体育館のウォータークーラーをご寄附いただいた十川ゴム株式会社の会長様、社長様にお会いする機会をいただきました。この会社は、昨年、創業100周年を迎えた歴史の長い会社です。この会社の経営理念はホームページにも掲載されていますが、お会いしてお話を聞かせていただくと、あらためてその深さを感じるのです。

業態は、ガス産業向けホースや列車用ブレーキホースなど、多くの社会インフラを支えるゴム製品の開発と供給です。これらの製品は、普段、あまり目につかないものの、国民の生活になくてはならないものです。故に、「縁の下の力持ち」と自負しておられます。

そして、この会社が大切にしていることに、「三方よし」、「人を大切にする経営」というものがあります。「三方よし」とは、自社、取引先、社会のすべてにとって利益があるということです。それは決して金銭面だけの利益ではありません。

「人を大切にする経営」については、お話をうかがっていて感じたのは、人を大切にしてきたからこそ、この会社が成長したのだということでした。ホームページにも次のように記載されています。「100年続いてきた企業には、それを支えた人がいる。そして、次の100年をつくるのも、また“人”です。」

「三方よし」、「人を大切にする経営」に共通するキーワードは、「幸福」ということではないでしょうか。自社、取引先、従業員、社会、すべての幸福を願って経営を続けてきたからこそ、企業として100年以上の歴史を刻むことができたのでしょう。今回も多くのことを学ばせていただきました。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

